

## 「今、ウポポイ&アイヌ文化を学ぼう」終了レポート

11/21(金)13:30~17:00、表題の第五支部オンライン研修が実施されました。参加者は70名(録画配信の方も含む、会員54名、非会員16名)、運営委員4名、北海道から九州まで、幅広い地域の方にご参加いただきました。ウポポイ(民族共生象徴空間)は今年7月12日、北海道白老町にオープンした、アイヌ文化の復興・発展のための拠点となるナショナル・センターです。研修では、一講目にウポポイを運営されている、公益財団法人アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部の西條誘客広報課長より、「ウポポイの概要」をお話いただきました。外国人観光客へのアイヌ文化のご案内ポイントも含め、広大な施設の概要について、わかりやすくご説明いただきました。2講目としてウポポイの中核施設の一つである国立アイヌ民族博物館の田村展示企画室長より、「アイヌ文化の基礎知識」について解説いただきました。講義は、バーチャルリアリティ(VR)を駆使した、博物館内のツアーから始まり、続いて、アイヌ民族のユニークな世界観、歴史、活動範囲、他民族との交流など、アイヌ民族を巡る包括的な解説がありました。続いて3講目は、第五支部会員の森若裕子会員(全国通訳案内士、英語・中国語)より、ガイド目線でみた「ウポポイ・ガイディングのポイント」。ご自身が北海道東部で暮らしていた際に目にした、アイヌの方の生活実態についてのお話から始まり、実際にお客様をご案内しているようなツアー形式で、「これを覚えていると便利」というポイントを解説いただきました。基本は90分コースですが、見どころ満載の広大な施設ですので、要領よくご案内することが必要とのこと。各講師にはチャットにて活発に質問が寄せられましたが、それぞれ丁寧にご回答いただきました。各講師からは貴重な説明資料もご提供いただき、感謝申し上げます。参加者からは、「充実した内容の研修だった」、「コロナ禍で訪問できていないが、ビジュアルが豊富で、様子が良くわかった」と大好評でした。なお、研修終了後に数名の会員から、「申し込みを失念したが、録画を視聴したい」との申し出があったため、11/30~12/7まで見逃し配信希望者を募ったところ、20名(会員13名、非会員7名)から申し込みがありました。その結果、視聴者総数は90名となりました。このうち事前に録画配信を希望された方が13名(会員6名、非会員7名)、後日、見逃し配信に応募された方が20名(会員13名、非会員7名)です。すなわち録画を導入したことにより、視聴者数が33名、約58%近く伸びたことになり、その絶大な効果が証明されたこととなりました。

今回の研修で多大なご協力をいただいた、アイヌ民族文化財団の西條様、田村様、窓口の五百木様、及び長時間にわたってウポポイを隈なく調査いただいた第五支部の森若会員、運営委員長の門脇理事、委員の本間会員、益山会員、そしてシステムご担当の美澤常務理事、及び新井事務局長には大変お世話になりました。心より御礼申し上げます。

第五支部 運営委員 恒川恵